



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局

平成28年6月発行

会長挨拶



佐倉三田会会員・塾員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当会も本年で早や16年目を迎えました。7月の定期総会、12月のファミリーパーティーはじめ、ゴルフ、マージャン、カラオケ、囲碁等の愛好会、三田会サロン、当サロンより発生した春、秋の散策会等の行事へのご参加を通して会の発展にご尽力いただき感謝申し上げます。

昨今では上記に加え、千葉合同三田会および八千代、四街道、千葉、市川、船橋、浦安の各地域三田会、佐倉稲門会との交流がますます盛んになり、会員の皆様の活躍の場が広まっていることは誠に嬉しい限りです。福沢先生の建学の精神に基づく塾員相互の深い絆をもとにより広い横のつながりを進めるべく努力してまいりたいと思います。

弊会は各地域三田会共通の思いでもありますが会員の若返りを図っており、4月より平成卒の幹事2名を含む3名の若い方々に幹事を引き受けていただきました。定期総会にてご紹介をさせていただく予定であります。

平成23年の東日本大震災に際しましては、慶応義塾、連合三田会の要請により当会より10万円の寄付をいたしました。今般の思いのほかの甚大な熊本地震の被害に対し総会の場で有志による義援金を募りたいと考えております。詳しくは総会の場でご説明いたす所存でありますがご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

(S40 商) 園田紀之

第16回佐倉三田会総会・講演会・懇親会ご案内

日時 平成28年7月2日(土) 16:00-20:30(頃)

第1部 総会 16:00-16:40

第2部 講演会 16:50-18:00

講師 杉江 弘様(塾員)(航空評論家)

演題 「多発する航空機事故の原因とその対策」

第3部 懇親会 18:15-20:30

アトラクション ハワイアンバンドとフラダンス

場所 ウィッシュトンホテル ユーカリ(京成線ユーカリが丘駅北口隣接) Tel 043-489-6111

参加費 7,000円

年会費 3,000円

(塾員のみ、ご家族の方は不要です)

尚、当日ご欠席の方はお手をですが、次の口座に年会費3,000円のお振込みをお願いします。

千葉銀行佐倉支店

普通口座 3493794

名義 「佐倉三田会 会計 柳原 実」

お振り込みの際、卒業年度もご記入をお願いします。

*準備の都合上、ご出席、ご欠席のご返事を6月24日までに下記宛てにメール、ファクス、電話等でご連絡下さい。(このメールでのご返事でも問題ありません。)

*連絡先 佐倉三田会 代表幹事 今井正弘
Tel及びfax 043-461-5121

メール natsuko0626.jp@yahoo.co.jp

講演会講師:杉江弘氏 プロフィール

(杉江弘氏のオフィシャルサイトより一部抜粋)



1946(昭和21)年愛知県生まれ。
1969年慶應義塾大学法学部卒業後、日本航空入社。DC-8、ボーイング747、エンブラエル170の機長として国内線、国際線に乗務。首相フライトなど政府要請による特別便の経験も多い。ボーイング



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
平成28年6月発行

747の飛行時間では世界一記録の14,051時間を保持。
2011年10月の退職までの総飛行時間は21,000時間を
超える。

現在は、航空評論家・エッセイストとして活躍。現役時
代から航空安全に係る著書も多く、退職後も出版を続
け、新聞、テレビ等メディアに出演。各地での講演会を通
して航空問題について解説、啓蒙活動を行っている。日
本エッセイストクラブ会員。

趣味はSL写真撮影。大学在学中は鉄道研究会に所
属、日本航空入社後は crew として乗務する機会を利用
して世界中のSLを追いかけて写真撮影。SL写真の出版
も多い。鉄研三田会会員。

以上

アトラクション

「アロハ・パラダイス」と「フラダンス」



アロハ・パラダイスは三田
会及び塾員の支援を目的
として、千葉県合同三田会
(川口会長)の承認を得て、
結成したハワイアン・バンド
です。今回はフラダンスグ

ループが花を添えてくれ
ます。

メンバーは、堀口俊一郎

(36 工、四街道三田会)、岡野嘉久(36 法、市川三田
会)、永井瑞枝(58 文、佐倉三田会)、を中心に、千葉県
及び近隣の三田会・塾員の関係する行事の盛り上げに
奉仕しています。



以上、堀口俊一郎さまから)

平成27年度佐倉三田会諸活動報告

第15回佐倉三田会総会・講演会・懇親会

平成27年7月4日(土)

ホテル・ウィシユトンユーカー

午後4時から8時

参加者数: 総勢77名

来賓: 塾員センター・黒田様 大胡田誠さま(講

師 近隣三田会 佐倉稲門会 慶応義塾大学

アカペラグループ・Walkmen

会員: 55名



第一部【総 会】

第一号議案 平成26活動報告

第二号議案 平成26年度会計報告及び会計監
査報告の件

第三号議案 平成27年度活動計画(案)承認
の件

第四号議案 平成27年度会計予算(案)承認
の件

第五号議案 平成27・28年度幹事(案)承認の件

◇ 第一号～第四号議案について、滞りなく承認
された。

◇ 第五号議案については、口頭で前期とおりの
幹事が継続する旨承認された。

なお、寺田俊夫君及び小林貞三君が新幹事



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
平成28年6月発行

として幹事に加わることを報告し、承認された。

<追記> これからの活躍が大いに期待された新幹事寺田俊夫君が今冬ご逝去されました。本誌を借りて謹んでご冥福をお祈りいたします。

第二部【講演会】

講師 大胡田 誠 弁護士

演題: 全盲の僕が弁護士になったわけ。



全盲で日本人三人目の弁護士となった大胡田氏が塾で学びながら弁護士になるまでの話は感動的でした。

第三部【懇親会】

アトラクションとして母校慶応義塾より、アカペラグループ(Walkmen)を招き、その絶妙な歌声に聴き惚れ、楽しく盛り上がりました。



第8回佐倉三田会ファミリーパーティー



平成27年12月20日
自治(日)

ウイシュトンホテル・ユーカリ

参加者: 会員、ご家族を含め55名

今年の企画として

個人の発表会を実施、11名の方が発表されました。(宗教・政治などは除く)

毎年恒例のオークションも実施して、収益は会の運営にまわされました。

アトラクションとして、ハワイアンバンド&フラダンスがあり、会員間の親睦を深める素敵なパーティーになりました。

幹事会開催

毎月原則最終日曜日に開催(7月と12月は休回) その他、必要に応じて臨時に開催。

近隣三田会との交流

近隣三田会とは総会への出席、各愛好会を通じて交流が深まっています。

佐倉稲門会との交流

4年前からゴルフ大会を手始めに交流をはじめ、講演会の共同開催も始めております。

各愛好会・サロン及び史跡散策会

ゴルフ・囲碁・麻雀・カラオケの各愛好会は定期的に開催しています。史跡散策会は昨年よりサロンから独立して、佐倉周辺の里山などを散策し郷土史への理解を深めています。

サロンは今年から、三田会会員の講話というユニークな企画で、それぞれの体験談・経験談をお話いただき、相互理解を深めていきます。

◇ 詳細は以下の愛好会等報告をご参照下さい。

愛好会・サロン・史跡散策会報告・紹介

ゴルフ愛好会

本愛好会は、ゴルフを通じて会員の健康と親睦を図ることを目的に2001年(平成13年)9月に結成、その9月に第1回ゴルフ大会を習志野CCにて開催。その後も多くの方々のご協力、ご参加を得て活発に活動を続けています。この会は会員相互の親睦はもとより近隣の八千代・四街道三田会、それに佐倉稲門会との親睦・対抗戦も実施し友好、親善の輪を広げています。2011年



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
平成28年6月発行



第27回 Open Fun Golf 12月12日(月)
佐倉 C.C(終了後忘年会を予定)

★四街道三田会コンペ 5月26日(木) 房総 CC

定例ゴルフは、全員ハンディキャップの下で順位を競う公式競技とし、オープン・ファン・ゴルフは順位を競わず楽しくプレーし歓談して頂くことをモットーとした大会です。多くの女性の方々に是非ご参加頂きたいと思っておりますので、女性の皆様のご参加を心よりお待ちしております。2013年3月に従来のハンディキャップの見直しを行い、第26回定例ゴルフ大会よりの定例ゴルフ大会は新ハンディキャップ適用でのプレーとなっております。

3月11日の東日本大震災で恒例の八千代三田会との親睦対抗戦は急遽中止、延期致しましたが、その後は予定通りの予定の年間行事を開催しております。

2010年9月7日(火)には泉CCにて、「佐倉三田会10周年記念」の拡大 Open Fun Golf 大会を開催。好天に恵まれ愛好会メンバーのご家族、塾員ご友人、96名(男性86名、女性10名)の多くの方々にご参加頂き、塾の絆の強さ、有難さを実感致しました。愛好会の会員数は現在約40名、大会は定例ゴルフ会、Open Fun Golf 大会を年各2回、それに近隣三田会との大会とで構成されています。

今年 2016年の行事予定は次のようになっています。

第13回 八千代親睦・対抗ゴルフ 4月8日(金)

泉 CC 東・南コース 各3組

第32回 定例ゴルフ 5月30日(月)

総武CC 印旛コース 8:30

in・out 同時スタート Play Fee 12,500円 (セルフ・昼食付き、税別)

第26回 Open Fun Golf 7月19日(月)

佐倉CC

第33回 定例ゴルフ 10月7日(金)

泉CC 8:30分 東・西 各3組 Play Fee 未定

第5回 稲門会親睦大会 11月7日(月)or14日(月) 佐倉CC



平成27年度の役員は会長:下山博(法 35年)、副会長:橋本政彦(法 41年)、杉浦脩士郎(商 43年)、幹事今井正弘(経 45年)の4名で担当致します。ご協力の程、宜しくお願い致します。尚、愛好会に参加ご希望の方は、橋本政彦:TEL & FAX 043-461-6303、

Eメール fwijj4695@mb.infoweb.ne.jp に遠慮なくご連絡願います。メンバー各位の憩い、交流の場として益々発展出来ますよう一層の努力を致したいと考えておりますので宜しくご支援をお願い致します。

(S41法) 橋本政彦



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
平成28年6月発行

囲碁愛好会

囲碁愛好会は発足以来入会者が増え続け現在 23 名になりました。
近隣三田会の参加も得、会員相互の親睦の場として定着しています。
現在の会長はS38 年卒の井上隆幸さん。



月例会は、京成佐倉のミレニアムセンターにて第 2 土曜の午後 1 時～5 時まで
10 数名で対局しています。
囲碁大会は、年 3 回。1 月は新春囲碁大会、5 月は日本エアロビクスセンターにて、
合宿囲碁大会、10 月は総会のあと囲碁大会を開催し、対局後は懇親の場となり話題はつきません。



また毎年 11 月には、佐倉稲門会と囲碁早慶戦を行い、親睦ではありますが熱い戦いが行われ、我が三田会が 6 勝 2 敗 1 分けと今のところリードしています。
最近では級位者に囲碁指導を行い、棋力向上に注力して

います。

私は8年ほど前に入会しました。当時は、3 級でしたが、現在は 3 段になっています。
囲碁の本を購入し、定石や詰碁を何度も読み直し、更に実戦を重ねた結果と思います。
囲碁は、脳の活性化に役立ち、ボケ防止につながります。この機会に是非入会して親睦の輪を広げましょう。お待ちしております。

柳原 実(S48 工)

麻雀愛好会

現在会員登録は約 30 名。
会長は会発足以来S30卒の柴田実さん。会員のなかには、千葉、船橋、四街道の方もおられます。



麻雀は、明治になり最初は文化人の間に広まり、その後サラリーマン・学生に普及。
我が三田会はその歴史を守って上品な雀士が数多くいます。
毎月第 4 土曜、京成佐倉の雀荘で 10 時半から半荘 5 回行い、順位を決めています。
1 月、5 月、9 月は、大会を行い、北海道から、タラバ、毛ガニ、ホタテ、イクラ、鮭、たらこ等、産地直送の豪華賞品で埋め尽くされます。
勝敗は、実力よりも運に左右され、だれにも優勝のチャンスがあります。
逆に運悪く大敗しても上限打ち切りです。



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
平成28年6月発行

配牌から戦略を練り和了を目指しますが、ツモの流れ、他の3人の打牌状況で戦略を練り直すので、手先を動かすことと合わせボケ防止にもなる楽しい競技です。

中には月1回の会では足りず、プライベートに楽しんでいる人もいます。

また四街道三田会との交流もあり、年3回、対抗戦を行っています。

我と思わん方は是非参加してください。

柳原実(S48工)

カラオケ愛好会

現在、森進一の歌が上手な松永さん(S51経)が会長。会員数15~6名。

カラオケは、現役の頃、懇親会の2次会ではよく行きましたが、本会では、いきなりカラオケパーティーになります。飲食をしながら、相手の歌はよく聞き、自分が歌うときは、よく聞いて頂くそうしたマナーが大切です。ユーチューブやカラオケボックス等で練習を重ね、パーティーが披



露の場となります。

回を重ねていくうちに、音程がしっかりし、声量もで、音域も広がってきます。

主な効果は次の通りです。

まずはストレス解消です。気の合った仲間と一緒におなかの底から歌うので、適度の緊張とリラックスのバランスが、自立神経を整えます。

また、腹式呼吸をするので全身運動にもなります。1曲歌

うと100メートルを走る運動量とも言われています。さらに歌詞の内容に気持ちをこめれば、若返りのホルモンが分泌され、ボケ防止、さらに美肌効果も期待できます。



〔最近の活動記録〕

- 第49回 27年4月19日
参加者 5名
- 第50回 27年6月15日
参加者 7名
- 第51回 27年10月8日
参加者 6名
- 第52回 28年1月24日
『懐メロ会』との合同新年会 総数21名中、三田会から13名参加
- 第53回 28年2月18日
参加者 8名

原則月1回、4時間程度のパーティーですが、心身ともに充実させ会員相互の懇親の場としては、最高です。入会をお待ちしております。

柳原実(S48工)

佐倉三田会サロン

第26回サロン (平成27年11月1日)

過去には佐倉三田会外部から講師を招いての講演などもサロンとして実施してきましたが、我が佐倉三田会の会員の中には貴重な経験や体験をされた先輩が沢山おられます。こうした先輩方の経験談・体験談を格式張らずに披露していただきながら、集まった会員の皆さんに見識を深めていただくと同時に交流を深めていただく“社交的な集まり”のサロンの一環として、今回は会員の大先輩である下山博様(S35年卒)にトーク形式でお話をいただきました。

下山様は現役時代食品専門商社に勤務し、筋子・数の子等の水産物の買い付けのためアラスカやカナダに赴き凍てつく極寒の地で数々の貴重な体験や苦勞をされました。その体験 & 苦勞話を1時間半(15:30~17:00)と



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
平成28年6月発行

いう短い時間でしたがお話しいただきました。場所は臼井公民館2Fの創作室、開催担当者としては定員40名の部屋を貸し切って閑散とした中でお話しいただくのは内心申し訳ないと思っておりましたが、ふたを開けてみたら34名もの大勢の方に集まっただきホッとした次第です。(懇親会参加者は17名)



演題は「魚卵を求めて(アラスカ・カナダ編)」(アラスカ編:筋子製造よもやま話、カナダ編:数の子製造よもやま話)。海外での商権獲得競争は熾烈を極めるものですが、筋子や数の子といった魚卵もその例に漏れず、アラスカやカナダの現地での製造事業の権利を争って商社は熾烈な戦いを繰りひろげ、さらに漸く確保した製造事業を実際に行う過程でも様々なことが発生。こうした商社間の闘いだけでなく製造現場で起きたいろいろなエピソードを紹介していただきました。

普段、我々が何気なく食べている筋子や数の子もこうした関係者の舞台裏での地道な努力や奮闘の末に我々の食膳に上るということが、僅かではありますが理解できた気がします。

サロン終了後の懇親会は、場所を移して京成臼井駅北口駅前の「串甚」で講師の下山先輩を囲んで盛り上がりました。

(S45工)萩原隆一

史跡散策会

第2回史跡散策会(平成28年3月12日)

【岩富城跡・町方から馬渡へ】

史跡散策会の第2回目として、地元佐倉に残る里山と史跡を訪ねる散策の第2弾。旧弥富村の中心であった岩富町(マ) (岩富地区と区別するため地元では町方と云う)地区を散策ののち、坂戸橋から鹿島川西岸を51号線まで北上。旧馬渡宿を散策後、佐倉市唯一の蔵元・田中酒造(現(株)旭鶴)を訪れました。

参加者:20名 (反省会参加者は15名)

当日の行程:京成佐倉駅—(路線バス)→神門(停)—(デマンドバス)→弥富郵便局

→岩富城跡・浅間神社→町方散策→坂戸橋→(鹿島川西岸)→千蔵寺(馬渡

馬場館跡)→旧馬渡宿→八坂神社・馬渡百観音→田中酒造→八坂神社入口(停)—(路線バス)→JR佐倉駅→【反省会】「はなの舞」JR佐倉南口店

今回も神門からデマンドバス(佐倉市が南部過疎地区の足として運行する予約制バスで路線・時刻は決まっていない)とタクシー2台に分乗して弥富郵便局に向かいここからスタート。まず向かったのが中世(12C)から戦国



時代を通じ臼井城とともに千葉氏の防衛拠点であった岩富城跡。郵便局前の田舎道から小さな石の鳥居のたつ小道に折れて暫く登っていくとI郭(本丸に相当)跡が開ける。岩富城I郭跡はテニスコート1面ほどの広さだが鹿島川と弥富川の合流点を眼下に臨む台地上に立地



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
平成28年6月発行

し、その城域は東西約400m 南北約500mとも言われ臼井城とともに県下有数の城であったようである。1 郭跡脇にある浅間神社(もともとは妙見神社)をお参りして郵便局まで戻り、町方の教蔵寺、八幡神社を巡って弥富川沿いに坂戸橋へ。ここで所用のため遅れて、川村美術館

恒例の反省会(懇親会)は JR 佐倉駅前の「はなの舞」で実施。相も変わらず呑兵衛が多く、今回もまた日本酒の一升瓶がとぶように空になり大盛り上がりでした。

(S45 工) 萩原隆一



経由で追いかけてきてくれた永井さんと合流。ここからは鹿島川の土手を51号線目指して北上、雨こそ降らない曇り空のなか土手の上は遮る物もなくまともに冷たい風を受け約30分ほどひたすら歩く。51号線の岩富橋の手前で土手と別れ、千葉氏家臣の館跡といわれる馬渡馬場館跡(千蔵寺)に立ち寄り旧馬渡宿へ。旧馬渡宿は江戸時代千葉と成田を結ぶ千葉古街道の宿場で成田山参詣の旅人で賑わっていたという。明治22年若き正岡子規も成田参詣の帰りにこの馬渡宿の上総屋という宿に投宿している。この上総屋は現在田中酒造の敷地になっているそうだ。今は人けのない宿場跡だが、通りの風情からは当時の面影も窺えるようだ。旧馬渡宿内の善養院、八坂神社、馬渡百観音を巡った後に、最後に田中酒造を訪れ蔵元の見学と試飲を楽しみました。田中孝一社長の気前の良い勧めもあり、酒好きの参加者は試飲どころではなく爆飲でした。寒風に耐えて土手を歩き冷えた身体を、みな身体の内から温めていたようで、中には普段アルコールはダメと言っている人までもが特製の梅酒をお代わりしていました。

参加者最年長の北田和夫先輩(S25年卒)も、「みんなに付いて行けるか心配」と仰りながらも遅れることもなく無事完歩。

愛好会・サロン・史跡散策会参加の連絡先

ゴルフ愛好会

橋本政彦 (S41 政)
☎& Fax 0 043-461-6303
Mail fwij4695@mb.infoweb.ne.jp

囲碁愛好会

有馬 広 (S45 工)
☎& Fax 043-462-4929
Mail arima.carlos@sirius.ocn.ne.jp
柳原 実 (S48 工)
☎ & Fax 043-461-0497
Mail yana@catv296.ne.jp

麻雀愛好会

柳原 実 (S48 工)
☎ & Fax 043-461-0497
Mail yana@catv296.ne.jp

カラオケ愛好会

天野一良 (S48 文)
☎& Fax 043-488-2250
Mail kazu.amano-2002@proof.ocn.ne.jp
松永克樹 (S51 経)
☎& Fax 043-486-1961
Mail aston@energy.ocn.ne.jp

サロン&史跡散策会

萩原隆一 (S45 工)
☎& Fax 043-461-9151
Mail tkk.hagiwara@orchid.plala.or.jp



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
平成28年6月発行

佐倉三田会

平成27年度会計報告

(27年4月1日～28年3月31日)

収入の部

単位:円

項目	予算	決算	備考
前年度繰越金	347,709	347,709	前年度比 148,313 増
年会費	300,000	270,000	3,000×90名=252,000 前年度比6名増
総会懇親会費	460,000	491,000	祝い金含む 参加 53 名+来賓 12 名
ファミリーパーティー会費	320,000	346,000	参加 52 名
雑収入	60,000	140,599	連合三田会大会券販売 40,000
			寄付金 100,535(5分 2,000 円参加 20,000、写真 38,000、提供品販売 39,510、他)
			利息 64
収入計	1,487,709	1,595,308	

支出の部

項目	予算	決算	備考
総会懇親会費	420,000	480,644	ウイントンホテル宴会費 433,964 来賓手土産 22,680 その他 24,000
ファミリーパーティー宴会費	320,000	392,297	ウイントンホテル宴会費 390,137 吊り看板 2,160
渉外費	230,000	230,000	千葉県合同三田会 30,000 市川50周年 20,000 市川・船橋・四街道・八千代・千葉三田会 佐倉稲門会 各 20,000 浦安三田会 10,000 連合三田会大会券購入 50,000
会議費	16,000	19,002	幹事会 4/26・5/31・6/28・8/30・9/27・11/1・11/29・ 1/31・2/28・3/27
事務費・通信費	44,000	22,441	コピー代 270 印刷代等 22,171
その他 予備費	110,000	96,736	総会等謝礼 58,272 早慶合同講演会関連 33,000 弔電(寺田氏)5,464
(小計)	1,140,000	1,241,120	
次年度繰越金	347,709	354,188	
支出計	1,487,709	1,595,308	



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
平成28年6月発行

【特別寄稿】

(S39 工) 足田美穂

にぎたづに ふなのりせむと つきまてば しほもかないぬ いまはこぎいでな
「熟田津尔 船乗世武登 月待者 潮毛可奈比沼 今者許藝乞菜」

は、額田王の作と伝えられる有名な万葉集の歌である。この歌に付された注釈に、「山上憶良大夫が類聚歌林(るいじゅうかりん)を調べたところ、舒明天皇元年と九年十二月一日、天皇と太后は伊豫の湯の宮に幸した。斉明天皇七月正月一日、御舟は西征のため、始めて海路に就いた。同月十四日、御舟は伊豫の熟田津の石湯(いわゆ)行宮に泊った。天皇は、昔日に残した物を御覧になり、当時を思い偲ぶ心が、一挙に込上げてきた。そこで、歌を詠んで哀しみに浸ったのである。やはり、この歌は斉明天皇の御製である。」とあり、歌の解釈に疑わしき点はないとされている。

しかし、類聚歌林が実在しなかった可能性があるうえに、憶良の注釈には、日本書紀の記述と明らかな違いがある。日本書紀によれば、舒明天皇の伊豫温湯行きは、舒明天皇十一年十二月の一度だけで、しかも、宝皇女皇后(皇極・斉明天皇)を伴ってはいなかったのである。そして、訪れた先も、熟田津石湯行宮ではなく伊豫温湯宮であった。

この違いは、何故、生じたのであろうか。結論を先行させると、日本書紀は、斉明天皇の一生を、ありのままに記述しなかったのである。万葉集は有力な歌人憶良の名を借りて、斉明天皇の伊豫熟田津(爾枳陀豆)の石湯行宮を「舒明天皇との思いでに浸るための旅」としたのである。石湯行宮での滞在期間は、国政を放棄したと見られても仕方ないほどの67日という異常な長さであった。この裏にある真の事情を記述できず、思いついた手段が、万葉集の利用であった。この歌が作られた動機は、天皇の失踪事件を隠すことにあったのである。なお、万葉集の編纂に政治の手が入ったことは、紛れもない事実である。

AD661 斉明天皇七年正月六日の条「御船西征、始就于海路(天皇の船が西征のため海路に乗り出した)」は、神功皇后に習おうとしたのであろうか、真相は、失われた国を再興しようと唐と新羅の連合軍に戦いを挑んでいた百濟遺臣を支援するために、百濟に近い筑紫に出張らなければならなかったと言わんがためであった。それならば、有能な将軍を筑紫に派遣すればよく、女性天皇自らが下向する必然性は、当然、否定されることになる。それに、「御船」の周りには、皇太子中大兄、大海人皇子、および廷臣の姿はまったくなく、まして、あるべき大船団の影も形も認められないのである。

額田王が同行した様子もない。あるのは臨月を迎えた大田姫皇女(中大兄の女)の名のみである。伊豫に向かって急ぐ「御船」であったが、大田姫皇女の出産が間近となり、出港後二日で、やむなく、上陸地を探して大伯(吉備の邑久(おうく)の海に入ったということである。このときの「御船」は、百濟船(120人乗りの遣唐使船)といわれる大型船ではなく、喫水の浅い準構造船(50人乗り)であると考えられ、船手等を除けば、収容人数は20人ほどであった。「御船」の他に、少なくとも侍従する官人官女、護衛の兵などの乗船する数艘が付き従ったはずである。

AD661 斉明天皇七年正月八日の条「御船は大伯海に到着する。その時、大田姫皇女が女(むすめ)を産んだ。名付けて大伯皇女という。」

AD661 斉明天皇七年正月十四日の条「御船は伊豫熟田津(にきたづ)の石湯行宮に泊した。」

無事、大伯皇女が誕生したものの、先を急がなければならなかった。出産直後に大田姫皇女の体力回復を待つ余裕



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
平成28年6月発行

もなく、伊豫に移動するのである。この間、6日。当時の船速(20Km/日)では、6日で120Km、5日で100Kmの移動が限界であった。岡山県の邑久(大伯)からは、愛媛県の今治市か西条市に達するのがやっとで、とても道後温泉に達することはできなかったのである。

それにしても、出産直後の女性を乗せると言う危険を冒さねばならなかった背景は只事ではない。それに、大田姫皇女の夫である大海人皇子が筑紫に往くことはなかったことは、事態の混迷の深さが増すばかりである。時は、百済の遺臣餘福信から援軍の派遣と人質の百済王子餘璋(豊璋)の返還を求めてきた直後であった。中大兄以下の親百済の面々は、天皇から徴兵を命ずる詔などが下らず、救援軍兵士の募集に東奔西走したいはずである。

しかし、日本書紀には、それらしき慌ただしき動きの記述がない。斉明天皇といえ、**「我、関せず。」**と伊豫熟田津の石湯行宮での逗留を続けたのである。それでも、天皇は、やっと、腰を上げて**娜大津**に帰りついて(還至)、**磐瀬行宮**に住んだとされたのち**朝倉橘廣庭宮**に遷居し、**朝倉宮**でお隠れになったが日本書記の記述である。

AD661 斉明天皇七年三月廿五日の条「御船は**娜大津**に還至。磐瀬行宮に住んだ。天皇はこの名を長津とあらためた。」

AD661 斉明天皇七年五月九日の条「天皇は**朝倉橘廣庭宮**に還居。」

AD661 斉明天皇七年七月廿四日の条「天皇は**朝倉宮**でお隠れになった。」

娜大津とはどこか。『西条誌』¹によれば、津根村(宇摩郡津根郷大津庄土居組)は古くは大津の庄で、津の根元と言う意味であるので、**娜大津**は筑紫の那の津ではなく、この大津であった。そこには、伊和世宮といわれた村山神社(愛媛県宇摩郡土居町津根)が存在している。伊和世行宮が**磐瀬行宮**であれば、それは**長津(行)宮**である。さらに、天皇が崩御された**朝倉宮**は、**朝倉橘廣庭宮**²ではなく、伊豫越智郡朝倉に造営された宮であった。斉明天皇は、伊豫宇摩郡伊和世から越智郡朝倉に移動したのち、そこで亡くなったのである。

すると、有名な額田王の歌は、誰が、何処で詠んだのか、そして、歌の解釈はこのままでよいのか、改めて検討する必要がありそうである。斉明天皇の慌ただしき伊豫旅行と56歳(推定)での若き死の背景、および、その墓陵の所在についても、明らかにされなければならない。この謎解きは、次に機会に譲りたいと思います。

(完)

1. 西条誌: 儒学者 日野暖太郎和照編述

2. 朝倉橘廣庭宮: 福岡県朝倉市を所在地とする向きもあるが、発見されていないと言う。

【編集後記】

沢山の皆さまから沢山の原稿・投稿・写真をご提供いただき、なんとか「第14号佐倉三田会だより」の完成に漕ぎつけました。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。佐倉三田会で「こんなことをやったら」とか「こんな企画はどうか」といった、お声を是非お聞かせください。

この三田会だより、総会などの催し物は基本的にメールで配信しています(勿論メールをお使いでない方にはファックスとかその他の方法でお届けいたしております)。メールアドレスを下記にご連絡いただければ、あなたのメールにいろいろなご案内を送信しますのでよろしくお願いたします。

メール送信先: 代表幹事 今井正弘 natsuko0626.jp@yahoo.co.jp



第14号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局

平成28年6月発行



親鳥を待つ間
口閉じ燕の子

尾を振って泥に突っ込む
蝌蚪のあり

向かい合ひ
丹頂羽根を
広げあふ



姥百合の真横に
ひらきうすみどり



倒れ伏す草をと
ぢこめ初氷

俳句投稿： 疋田佳子さま

背景画像： 柴田恭子さま